

各位  
2020年10月8日(木)

東洋製罐グループホールディングス株式会社

## 東洋製罐グループ、エビ・甲殻類の細胞培養開発に取り組む シンガポールShiok Meatsに出資

当社は、シンガポールにおいて、エビ・甲殻類の細胞培養開発に取り組むスタートアップ企業である Shiok Meats（シオック・ミーツ、本社：シンガポール、CEO：Dr. Sandhya Sriram）に出資いたしましたのでお知らせいたします。



写真左「Shiok Meatsチーム。CEOのDr. Sandhya SriramとCTOのDr. Ka Yi Ling（前列中央）」  
写真右「Shiok Meatsの培養エビのミンチ肉を使用した焼売」 Credit：Shiok Meats

### Shiok Meats

2018年8月創業のフードテック・スタートアップで、エビ・甲殻類から幹細胞を分離する独自技術を有しています。Shiok Meatsは、クリーンなエビ・甲殻類の細胞培養製造によって、アジア地域が抱える食糧・タンパク質危機や気候変動、海洋汚染の社会課題解決を目指しています。

### 今回の取り組みについて

Shiok Meatsの今回の資金調達シリーズAで、調達総額は1260万米ドル。オランダの投資ファンドAqua Sparkがリードした本ラウンドには、弊社のほか、SEEDS Capital（シンガポール企業庁Enterprise Singaporeの投資部門）、リアルテックホールディングス（本社：東京）などが参画しております。Shiok Meatsは2022年に培養エビのミンチ肉の商業販売を目指しており、今回調達した資金は、シンガポールに建設を予定している世界初となる商用規模の細胞培養パイロットプラントの建設、運営資金に充てられる予定です。

当社は、食生活を支えるインフラ企業として、今回の出資によって、Shiok Meatsや他の共創パートナーと共に、培養エビ、甲殻類の商用生産、供給を進め、アジア地域における豊かで持続可能な食生活の実現を目指します。

## 東洋製罐グループのオープンイノベーションプロジェクト「OPEN UP! PROJECT」

東洋製罐グループは、2019年、これまでの100年間で培った容器の技術やノウハウを活用し、一人ひとりが抱える社会課題を解決し、持続可能な未来の暮らしを創るオープンイノベーションプロジェクト「OPEN UP! PROJECT」を開始いたしました。2年目となる2020年は、共創プロジェクトを促進するため、共に社会課題の解決に取り組むスタートアップ企業への投資を開始します。今回のShiok Meatsへの投資は、その1号案件となります。



【本リリースに関するお問い合わせ先】  
『OPEN UP! PROJECT』事務局 担当：遠山  
mail : open-up@tskg-hd.com